

議会だより



# しろさと

# SHIROSATO

町鳥 うぐいす



新年のごあいさつ	2
12月定例会で決まったこと	3
一般質問Q & A	5
議会の動き	7
お知らせ	10

「平成23年消防団出初式」



# 議長あいさつ



議長

小松崎 三夫  
こまつぎき みつ お

新年あけましておめでとうござ  
います。

旧年中は、町政の推進と町議会  
活動に対し、温かいご支援とご協  
力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、今日の経済情勢は、一昨  
年来の世界的な景気後退にやや持  
ち直しの動きがあるものの、雇用  
環境については失業率が過去最高  
水準となるなど、一段と厳しい状  
況にあります。

さらに、少子高齢社会の到来、  
医療保険、年金の制度改革、地球  
温暖化など環境保全への対応や、  
著しい情報化の進展等により、地  
方行政を取り巻く環境は誠に厳し  
く、まさに、行政の真価が問われ  
ている時といっても過言ではあり  
ません。

このような中、城里町では町の  
将来像を「人と自然が響きあい  
ともに輝く住みよいまち」と掲げ  
た「第1次城里町総合計画」に基  
づき、未来に向かい、着実に前進  
できるよう積極的にまちづくりを  
進めておりますが、この実現には、

お年寄りにも若人にも十分魅力あ  
る、活力に溢れた地域社会を実現  
することが何よりも肝要であると  
考えております。

議会といたしましても、城里町  
が抱える課題の解決に向け、議員  
一丸となり、どのようにすれば、  
豊かで魅力ある「城里町」が創造  
できるか真摯に考え、最大限の努  
力をしてまいります。

今後、地方分権改革の進展に伴  
い、地方公共団体の自己決定と自  
己責任の範囲が拡大する中で、意  
思決定機関である地方議会が担う  
役割は一層重要となつてまいりま  
す。地方分権時代の議会のあり方  
として、議会の制度面における機  
能や活動を拡充強化し、地域の実  
情に応じた議会運営が十分発揮で  
きるよう議会改革なども検討し、  
町民の皆様方のご期待に沿えるよ  
う努力してまいります。

今後とも、町議会により一層の  
ご支援とご協力を賜りますようお  
願い申し上げます。また、平成23年が  
皆様にとりまして幸せな年であり  
ますようお祈り申し上げます。新  
年のごあいさつといたします。

# 副議長あいさつ



副議長

小林 祥宏  
こばやし ひろ

新年明けましておめでとうござ  
います。

町民の皆様方には、平成23年の  
輝かしい新春をお健やかに迎え  
のことと心からお慶び申し上げます。

また、日ごろより、議会運営に  
対し温かいご理解とご協力を賜り、  
厚くお礼申し上げます。

さて、皆様方ご承知のとおり、  
今日の地方行政を取り巻く環境は、  
少子・高齢化の進行や地方分権の  
推進、三位一体の改革への適切な  
対応など、地方自治体にとっては、  
大きな変革の時期を迎えておりま  
す。本町においても、一般財源の  
減少が見込まれる中、生活環境の  
整備・充実や地域福祉の推進等多  
くの行政課題を抱えており、厳し  
い行政運営となっております。

このような状況の中、本町が確  
実な発展を遂げていくためには、  
財政基盤を確立し、財源の効率的  
運用や事務事業の見直しを推進す  
るとともに、地域の資源を有効に  
活用・連携することにより、個性

豊かな地域社会の形成と活力ある  
まちづくりを行っていかなければ  
と考えております。

本年の町政の取り組む課題は、  
少子高齢化対策をはじめとして、  
景気浮揚策、企業誘致をはじめと  
する雇用対策、行財政の改革、教  
育や福祉・医療の改革、生活関連  
施設や生活道路整備等々多岐にわ  
たつて計画されております。

このためには、地方自治体の本  
旨である住民自治の理念に則り、  
町民と行政、そして住民の代表で  
ある議会が互いに目標を共有し、  
一体となつて、合意形成を図って  
いくことが必要であると考えてお  
ります。

議会といたしましても、住民自  
治を基本にすえ、町行政に積極的  
に提言を行うとともに、町民の皆  
様方の負託に応えるべく、時代と  
共に歩む組織をめざし、信頼され  
る議会としての責任を果たしてい  
きたいと決意を新たにしている  
ところでございます。

結びに、町民の皆様方のますま  
すのご健勝とご多幸を心からお祈  
り申し上げます。年頭のごあいさつと  
いたします。

# 12月定例会で決まったこと



## 条例改正

▽町特別職の職員で非常勤のもの  
の報酬及び費用弁償に関する  
条例の一部改正

680円)より低いため、是正  
を図った

正  
▽国民健康保険税条例の一部改

納税協力員の廃止

口座振替納付が多くなったため、  
平成23年4月1日より廃止

国民健康保険特別会計の財政運

営の健全化を図ることを目的とし  
て、平成23年度から国民健康保険  
税の税率の引き上げ

七会診療所建設検討委員会の設置

委員長 4,000円  
委員 3,500円

※詳細は、保険課へ

正  
▽町立幼稚園設置条例の一部改

学校薬剤師の報酬額の改定

1人につき(1校当たり)  
20,000円

七会幼稚園の廃止

←  
合併当初から園児数の減少に伴

35,000円  
近隣市町の報酬平均額(54,

い、休園していたが、将来的に幼  
児人口の増加が見込めないため

▽町立学校給食センター条例の  
一部改正

七会学校給食センターが常北学  
校給食センターと統合

常北学校給食センターにおいて、  
統合するにあたり、学校給食安全  
衛生管理基準を満たし、七会学校  
給食センターの調理数も賄えるこ  
とが可能のため

## その他

▽水戸地方広域市町村圏協議会  
の廃止

協議会発足時の目的が達成され  
ため平成23年3月31日をもって  
廃止

## 人事

▽人権擁護委員の推薦

任期満了に伴い、新たに左記の  
ものの任命について同意しました

飯田 紀代子氏(大字石塚)  
杉山 宗市氏(大字上入野)  
久保田 殿司氏(大字上青山)

任期

平成22年12月7日から  
3年間

# 補正予算

一般会計 総額 95億6,381万円へ



①専決処分にて追加補正

歳出  
県議会議員選挙費 48万円

②追加補正  
6,882万円

歳入の主なもの  
地方交付税 12,100万円  
国庫支出金 2,621万円  
県支出金 1,038万円  
基金繰入金 333万円  
町債 △9,300万円

歳出の主なもの  
給与及び職員手当等 △1,408万円  
自立支援給付費 2,595万円  
他会計へ △1,765万円  
後期高齢者医療給付費負担金 517万円  
予防接種業務委託 292万円  
繁殖牛導入事業基金へ 172万円  
観光施設修繕費（ホロルの湯他） 160万円  
町道等境界確認測量委託 140万円  
道路新設改良測量設計委託 2,850万円  
池ノ内片山線補償費・用地購入費 1,111万円  
住宅リフォーム補助 120万円  
各小学校修繕費・工事費 741万円  
各中学校修繕費 165万円

## 特別会計

### 5 特別会計の補正

会計別		補正額	補正後の額
国保	保険事業	89万円	23億7,545万円
	診療所	△120万円	2億5,818万円
介護	保険事業	8,335万円	14億9,251万円
公共下水道事業		△1,648万円	10億7,478万円
農業集落排水事業		9,626万円	11億7,393万円
水道事業	収益的収入・支出	1,785万円	8億5,759万円

**陳情結果**  
▽TPPの参加に反対する陳情  
食料自給率を向上させることにこそ力を注ぐべきであるとし、採択することに決定し、内閣総理大臣等に意見書を提出しました。

**請願結果**  
▽町道0105号線の整備についての請願書  
本線は、小坂と錫高野を結ぶ幹線であり、現在、整備が休止されていることから、採択することとしました。

## 審議した議案と各議員の賛否（第4回定例会・第5回臨時会）

○は賛成、×は反対、－は欠席

議案名	議員名															
	園部	余水	三村	河原井	関誠	加藤	阿久津	桐原	小林	南條	杉山	三村	小松	鯉淵	根本	小坪
平成22年度一般会計補正予算（専決処分）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
国民健康保険税条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
町立幼稚園設置条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
町立学校給食センター条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
水戸地方広域市町村圏協議会の廃止	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成22年度一般会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
国民健康保険特別会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
介護保険特別会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
公共下水道事業特別会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
農業集落排水事業特別会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
水道事業会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
人権擁護委員の推薦	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
TPPの参加に反対する意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
町職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
工事変更請負契約の締結	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

# 一般質問

今回1人が質問し、  
その要約を掲載しました。

阿久津 則 男 議員 …………… 6P

- 映画「桜田門外ノ変」について
- スクールバスについて
- 桂図書館について
- 公有財産について



(桂図書館)

# 町政を問うA



あきつ 則男 議員

## 映画「桜田門外ノ変」について

**町長** 公開の感想は、60万人を超える

**阿久津** 映画

**阿久津** この映画作りに対し、どのようなことを支援したのか。  
**産業振興課長** 映画の製作協力券2,000円を741セット、前売り券、1,300円を147セット、合計167万3,100円を支援の会として売り上げた。  
**阿久津** 映画

視聴者があり大変好評と聞く。本県、本町の祖先が郷土愛のため幕末の大事件を起こし、大きなうねりにより明治維新、そして現在があると痛感している。  
**阿久津** この映画を一遍性のものにしなかったための妙案は。  
**町長** 桜田門外ノ変に

関係のある増子金八、鯉淵要人、加藤木賞三など幕末の人物、又映画に出演した俳優、平塚真介さん（黒沢忠三郎役）などがいることから映画終了後も支援の会を中心に登場人物のゆかりの地を広く町内外に紹介し町の活性化に結びつけたい。

## 桂図書館について

**阿久津** 年度別の利用状況は。  
**教育長** 別表のとおりである。

**阿久津** 減少の対策は。  
**町長** インターネット、電子書籍など情報発達により利用者が減っていると考えられる。対策としては貸出本の傾向や利用者

者の情報を分析し住民がどういう図書を望んでいるか研究し購入したい。

**阿久津** スクールバスを

利用し各小学校で桂図書館を利用できないか。  
**教育長** 図書館に来て体験させることは必要だと思っている。  
**阿久津** 図書館ボランティアの状況は。  
**教育長** あすなる会（4名）が年間6日図書整理に、又毎月第2、第4土曜日読み聞かせを実施し大変好評であり今後協力して頂きたいと思っている。

## スクールバスについて

**阿久津** バスの運営方式は。  
**教育長** スクールバスは委託方式を考え12月議会に補正予算を提出した。

バス8台を考えており購入価格、維持管理費、人件費等、膨大な経費が掛かり、更に児童数の減少も考え委託運営にした。

**阿久津** 存続校はバスを利用できないとのことだが、3K以上の生徒は、ふれあいタクシーを利用できないか。  
**町長** 今後スクールバスの見直しを行う際には参考にした。

別表

	入館者数	本の利用者数	貸出冊数
平成19年度	96,029人	42,451人	258,859冊
平成20年度	87,543人	38,385人	236,596冊
平成21年度	75,749人	34,577人	216,710冊

## 公有財産について

**阿久津** 各課で使用しない備品等を売却できないか。  
**町長** インターネット等で適正に処分していく。

# 議会の動き

## 教育産業常任委員会、常北中学校改築工事現場を視察



現場にて説明を受けている様子

## 委員会報告

10月28日、11月19日に協議会を開催し、常北中学校改築工事現場で出土したコンクリート基礎や浄化槽部材（FRP）の処分の対応について、協議しました。

現場を視察、説明を受け、変更金額の提示を求め、変更金額の説明を受けました。

## 臨時会

11月25日に、開催され、次の案件について審議しました。

### ●町職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例

国の人事院勧告に伴い、町職員の給料と賞与が減額

### ●工事変更請負契約の締結

工事名

常北中学校校舎改築工事

変更理由

工事現場でコンクリート基礎や浄化槽部材（FRP）が出土したことによる処分費の増額

変更金額

273万円

研修報告

総務民生常任委員会

# 宮城県丸森町を視察

まるもり



去る11月9日（火）、全国で3番目に市場化テストを導入し、出張所窓口業務を民間事業者に委託した状況について、視察してまいりました。

## 目的

- 1 町が実施している公共サービスに適切な競争原理を働かせることにより、質の向上と経費の削減を図る。
- 2 職員の更なる意識改革。
- 3 町と民間事業者が協力できる体制を作ることにより、官民協働のまちづくりを促進する。

## 導入の経緯

- 平成19年7月 市場化テスト導入プロジェクトチーム設置要項制定
- 平成19年11月 市場化テスト導入指針決定
- 平成20年7月 公共サービス改革の推進に関する条例、同施行規則公布
- 平成21年6月 市場化テスト評価委員会設置要綱制定
- 平成21年7月 官民競争入札・民間競争入札制度の実施に関する方針の公表
- 平成21年11月 まちづくりセンター窓口業務民間競争入札実施要項の公表
- 平成21年12月 入札・落札者の公表
- 平成22年4月 窓口業務契約締結について議決
- 平成22年4月 出張所（まちづくりセンター）の窓口業務をそれぞれの落札者である地区の住民組織に委託
- 委託期間 平成22年4月1日～平成25年3月31日
- 委託業務 戸籍・住民票・税務証明等の交付請求の受付及び引渡し業務



研修風景

地域のことは、その地域住民により、よりよい地域づくりを行っていくということ、住民自治組織をつくり、まちづくりセンターを活動拠点として、活動しています。

業務委託後、半年が過ぎましたが、委託前のサービスが保たれており、町民からの不満等はほとんどないということでした。また、委託したことにより、指定管理を含め、年間2,700万円ほどの経費削減が見込まれるとのことでした。

本町においても、2つの支所（桂支所・七会支所）があります。今後、早急に支所機能のありかたを考えたかなければならないと感じました。

## 丸森町の概要

人口 15,937人  
世帯数 5,067世帯  
面積 273.34km<sup>2</sup>

「シルクとミルクの町」として養蚕と酪農では、かつて県内一の生産量を誇っており、現在でも酪農生産量は、県内トップクラスを維持している。



役場前にて





研修風景

**(これからの課題)**  
 活用計画の中で、「施設の解体を行い、売却、貸付などを行う。」と謳っているもの、解体するには、莫大な費用がかかる上、売却するにも立地条件が悪くないなど計画どおり実施できるかどうか危惧されていました。

内容は、巡回映写会・納豆づくり体験・夢見る音楽会・イブセン先生を囲む4校合同研修会などを開催しました。しかし、開始当初は、盛り上がりつつも17年度で終了となりました。(平成18年度からは、山形県全体での廃校を利用している東北芸術工科大学による事業となり、町では、立木小学校が利用されました。)

現在、平成21年に「朝日町学校跡地活用計画」を策定し、地域の方や芸術家にアトリエとして貸しています。

平成14年度に立木、送橋、水本、上郷の4つの廃校となった小学校を、地域の宝として残すべく、跡地活用計画づくりを東北芸術工科大学に委託しました。

町としても学校跡地利用検討委員会を立ち上げ、全国の事例を調べながら活用方法を検討し、地域住民と協議を重ねた結果、芸術・自然・文化をテーマにした「おしえて—まなぶ」交流学习活動「あたらしいがつこう」が平成15年4月より開始となりました。(この事業は、生涯学習まちづくりモデル支援事業という国庫補助であり、申請等の事務は、すべて委託先の東北芸術工科大学が行いました。)

去る10月13日(水)、廃校の活用方法の調査のため、視察してまいりました。

# 山形県朝日町を視察

研修報告 教育産業常任委員会



## 朝日町の概要

人口 8,123人  
 世帯数 2,519世帯  
 面積 196.73 km<sup>2</sup>

キャッチフレーズが「りんごとワインの里」  
 地元のぶどうを原料にしたローカル色豊かなワインの醸造や全国的に最も優秀な品質のりんご「無袋ふじ」の生産地として名を馳せている。



役場前で

朝日町では、芸術・自然・文化をテーマにした廃校の活用ですが、全国では、医療施設や宿泊施設にと様々な活用計画があります。

本町においても平成23年度には、10校の小学校が5校になります。公共施設の効率的な活用を考え、地域住民に何が一番いいかを検討していかなければならないことだと考えられます。

この研修において、廃校の活用方法を考える上で、大変参考になり、委員の資質の向上となる研修となりました。



旧立木小学校にて

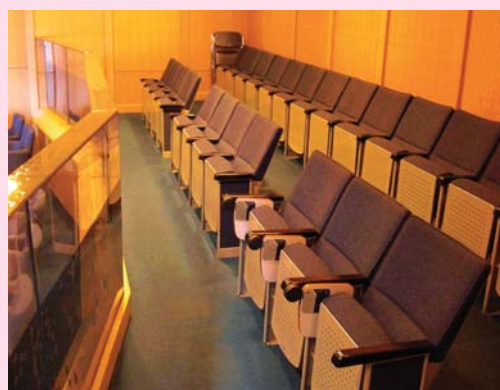
# 議会を傍聴してみましよう！

今、町ではどんなことが議論されているのだろうか。どんな計画があつてどのように進んでいるのだろうか。みなさんに身近なことです。

どなたでも傍聴できますので、ぜひ一度議会の傍聴にお出かけください。



議 場



傍 聴 席

## 傍聴者報告

第 5 回臨時会(11月25日開催) 0人

第 4 回定例会(12月7日～10日まで開催) 延べ2人

次回の定例会は 3 月 8 日からの予定です。

(手続きは本庁舎 2 階総務課で住所・氏名を明記するだけです。)

日程など詳しいことは議会事務局へ

**TEL.029-288-3111** (内線 301)

## 編集後記

新春のお慶び申し上げます。皆様には輝かしい新年を迎えられたことと思います。

昨年を象徴する漢字は、「暑」でした。記録的な猛暑で熱中症にかかる人が続出した夏でした。また南米チリ鉱山落盤事故があり、軌跡の救出劇があり地下700メートルに2ヶ月以上閉じ込められた人達の生活は、極限状態の暑さの戦いだつたでしょう。また猛暑によりインド洋の海水温の上昇で年末から年始の新巻鮭の不漁となり、農作物においても大いなる影響がある中で、TPP(環太平洋連携協定)に農林水産業振興や食料安全保障等、より慎重な対応をされるよう強く望みたい。今後とも、よりよい、広報誌づくりにも委員一同取り組んでまいります。

加藤 文夫 記

## 議会広報委員会

委員長 小林 祥宏  
副委員長 河原井 大祥  
委員 杉山 清介  
南條 治夫  
加藤 文夫  
余水 紀夫  
菌部 一夫